

中期五ヶ年経営計画のための事業評価シート

資料 9-3

【一般社団法人ばんえい競馬馬主協会】

＜計画年度：平成29年度～平成33年度＞

事業名	流通促進事業	定款条項	第4条第1項第2号事業【重種馬の生産振興及び流通促進に関すること】	評価年月	平成29年1月
-----	--------	------	-----------------------------------	------	---------

事業運営方針	○重種馬の生産振興と安定供給に向け、能力不適合馬及び競走引退馬の流通促進を図るため、臨時家畜市場を開設する。				
本計画の目標	1 出陳頭数と購買者を確保するため、適宜適切な時期に市場を開設	2 各調教師の協力が不可欠なため、出陳頭数の確保について調教師会を通じて通知をするとともに、調教師に個別にあたるなど積極的に粘り強く協力要請する。			
具体的な取組み	1 当該市場は例年、年2回の開設を計画するが、年々出陳頭数を確保することが困難となり、中止した年もあった。また、昨今では、第1回能力検査後の市場開設1回のみが定着している。	2 調教師会を通じて、各調教師へ再三に亘、業者との相対取引を止め市場出陳に協力するよう要請していたが、近年、出陳頭数は、十数頭と購買者も限定的で事業自体の意義が問われる状況			

◎過去五ヶ年の事業費の推移(正味財産ベース)

(単位:千円)

区分	年度	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (予算)
経常収益		85	98	29	269	230
内 訳	売買手数料	27	58	0	253	210
	販売申込料	17	17	0	16	20
	損失補填金	41	23	29	0	0
経常費用		631	650	580	745	882
内 訳	流通促進事業費	58	58	50	128	120
	事業管理費	573	592	530	617	762
経常外費用		0	0	0	0	0
他会計振替額		546	552	551	476	652

◎本事業の現状と課題等

【現状】 ①本事業は、当協会と調教師会が共同で行っている事業で、収益も損失も両会折半で実施しております。それゆえに調教師会や各調教師にもこれまで幾度となく協力要請し続けているが、未だ効果は乏しいし、今後も改善を望むのは極めて困難な状況にあると言わざるを得ない。	【課題】 ①目標達成のためには調教師や、馬主である正会員の協力が不可欠だが… ②これまでは、あくまでも拘束力のない協力要請という立場なので、馬主というよりも調教師次第である。
---	---

◎本事業の今後の方向性等(見直し改善案等)

【方向性】 ①本事業は重種馬の生産振興及び流通促進に重要かつ有効な事業であるが、近年の取引実績から判断すると、購買者も限定的で取引頭数も減少傾向にあり、改善も見込めないことから、廃止の方向で検討しなければならない状況にある。	【見直し休止(案)】 ①廃止する場合は、「定款」の変更が必要となるため、当面の間は休止という形をとって今後の情勢を見極める。
---	---

◎評価基準

A 現行の事業規模・同内容で継続する	必要性	無効化
B 現行の事業規模を拡大し、同内容で継続する	妥当性	無効化
C 現行の事業規模を拡大し、内容を見直して継続する	有効性	無効化
D 現行の事業規模を縮小し、同内容で継続する	効率性	△
E 現行の事業規模を縮小し、内容を見直して継続する	公平性	△
F 現行の事業内容を見直して継続する	予算規模	△
G この事業は目的を達成したので廃止又は休止する	執行体制	△

【総合評価・意見等】

第1回能力検査翌日の臨時市場は、当面の間、継続して実施すべきである。当協会でも市場を開設しなくても、この時期、馬の売買は相対取引される。よってこれまで年2回予定していた臨時市場を、年1回に減らす計画で当面の間、出陳頭数等の推移を見ながら継続する。

判定
D